

2期目に挑む決意

私はこの4年間、“ピンチをチャンスに”の思いを胸に、活力あふれる北海道の未来の実現に向けて全力で走ってきました。

新型コロナウイルス感染症への対応では、日々苦悩しながらも、多くの方々のご理解とご協力をいただき、道民の皆様の命と暮らしを守ることを最優先に取り組んできました。

就任後に立ち上げた「ほっかいどう応援団会議」には、600を超える企業・団体と約1万3千人の「道ファン子」の皆様にご参加をいただき、北海道への応援の輪は大きく広がりました。

ふるさと納税額は3年連続で日本一を達成し、「エールを北の医療へ！」プロジェクトで医療従事者の皆様にも多くの支援を届けることができたのも、市町村など関係の皆様との協力の賜です。

しかしながら、未だ感染症の影響は続いており、加えて、ロシアによるウクライナ侵略、エネルギー価格の高騰など、北海道を取り巻く環境は激変し、道民の皆様のご暮らしに大きな影響が及んでいます。

また、エネルギー問題や地球温暖化、食料安全保障など、日本全体が大きな課題に向き合う中、日本、そして世界の発展に向けて北海道が果たす役割はこれまで以上に重要になっています。

北海道が時代の岐路に立つ今、コロナ禍を通じて起きた変化を追い風に変え、エネルギー・デジタル・食を3つのキーワードに、北海道のポテンシャルを最大限発揮し、北海道の価値を押し上げていくため、果敢に挑戦していかねばなりません。

直面する様々な影響から、道民の皆様のご命と健康、暮らしをしっかりと守り抜く、そして、北海道の確かな未来を創っていくため、私、鈴木直道は、2期目に挑む決意を致しました。

道民の皆様とともに歩みを進めながら、^{ひたむ}直向きに北海道を前へ進めてまいります。

鈴木 直道